

様式第 1 号(第 6 条関係)

西予福長発第266号
令和元年 7月12日

総務企画部総務課長
山住 哲司 様

福祉事務所
長寿介護課長 宇都宮 積矢

会 議 要 録

名 称	平成 31 年度（令和元年度）第 1 回西予市地域包括支援センター運営協議会	
事 務 局	福祉事務所 長寿介護課	
	電 話 0894-62-6406	
	F A X 0894-62-6543	
開 催 日 時	令和元年 7 月 11 日（木） 18：25～19：45	
開 催 場 所	西予市庁舎 5 階大会議室	
出席者	委 員	■宗 正弘（会長） ■井関満永（副会長） ■片山貴夫 ■清家浩之 ■和家慎一郎 □樋口志保 ■源正樹 ■浜木君代 ■濱田正明 ■河野秀雄 □河野千鶴子 （■出席 9 名、□欠席 2 名）
	事務局	■藤井福祉事務所長 ■沖村健康づくり推進課長 （長寿介護課） ■宇都宮課長 ■信宮課長補佐 ■三瀬保健師長 ■野本係長 ■大西 ■柴田係長 ■宮本 （社会福祉協議会） ■横山常務理事 （地域包括支援センター） ■稲垣センター長 ■川崎センター次長 ■上甲センター次長 ■網干主任介護支援専門員 ■西梅主任介護支援専門員 ■大塚主任介護支援専門員、 （■出席 16 名）
議事内容(要旨)	（1）西予市地域包括支援センター運営協議会について 【資料 1】西予市地域包括支援センター運営協議会設置要綱 ・資料 1 を使用し、三瀬師長より説明あり。	

(2) 西予市地域包括支援センター運営指針について

【資料2】西予市地域包括支援センターの業務について

【資料3】西予市地域包括支援センター運営指針（平成30年度～令和2年度）

- ・資料2.3を使用し、三瀬師長より説明あり。
- ・西予市では、西予市社会福祉協議会に地域包括支援センターの運営と業務について委託し、平成19年4月に開設された。また、平成30年度当協議会において平成31年度（令和元年度）から6年間継続委託することが承認された。委託は県内で5市（松山市、今治市、東温市、西予市、平成30年度から伊予市）。全国では、委託が7割、直営が3割の状況である。
- ・センター職員の員数は、当協議会において専門職の人員確保についてご意見をいただき、平成30年度に介護支援専門員1名、平成31年度に看護師1名を採用し、現在21名体制となっている。
- ・平成30年度から令和2年度の3年間の運営指針は、平成30年度に承認を受けているが、特に介護事業者・医療機関・民生委員・介護相談員・ボランティア等の関係者とのネットワーク（地域社会との連携及び専門職との連携）構築、地域ケア会議、介護支援専門員に対する支援・指導の実施方針の3点を重要と考えている。

《（2）質疑応答》

（清家委員）

- ・運営指針の下線部は何か。

（三瀬師長）

- ・平成30年度に、以前の運営指針から見直している部分。

（清家委員）

- ・西予市型共生社会の特徴はあるか。

（三瀬師長）

- ・高齢者支援・障害者支援及び高齢者支援・子育て支援等、複合的な共生型サービスの創設に取り組んでいる。高齢者施設サービスと子育て支援施設を併設し、世代間交流等の連携した取り組みの実施、高齢者・障害者を対象とした総合的な通所サービスの創設を目指すこと、地域づくりと人づくりとして、ボランティア養成やボランティア同士の交流を推進し、

地域福祉を支える人材の確保や、サロン等地域のつどいの場を把握・支援し地域コミュニティを強化することに取り組んでいる。

- ・市・地域包括支援センター、社会福祉法人の間で、顔の見える関係が構築されていることが強みであり、その連携を活かした活動をしていきたい。

(3) 平成 30 年度活動内容について

【資料 4】平成 30 年度西予市地域包括支援センター事業報告

【資料 5】平成 30 年度西予市地域包括支援センター収支決算書

- ・資料 4.5 を使用し、稲垣センター長より説明あり。

(4) 西予市地域包括支援センター事業評価について

【資料 6】センターによる自己評価・事業所別サービス状況

- ・資料 6 を使用し、三瀬師長・稲垣センター長より説明あり。

《 (3) 質疑応答 》

(清家委員)

- ・長期目標に、地域包括ケアシステムの推進に向けて保健・医療・福祉の連携と住民活動等インフォーマルな活動や地域資源を活用したネットワークの構築に努めるとあるが、要としては生活支援・介護予防として支える場、地域の場を作ることが重要と考える。インフォーマルな地域活動やボランティア活動、自治体活動、集いの場の構築など、現状や課題、目指すところを教えていただきたい。

(川崎次長)

- ・地域包括ケアシステムの原点として、地域の互助力が大変重要と考えている。現状としては、地域性を活かした互助力について、Kintone 事業や生活支援体制整備事業、地域福祉活動計画策定のための各地区座談会において住民から情報収集している状況。また、地域ケア個別会議から 4 つのカテゴリー（認知症、医療介護連携、生活支援、介護予防）に仕分けをして検討し、個別のケースを通してインフォーマルサービスの構築を検討している。

(横山常任理事)

- ・集いの場として、ふれあいいきいきサロンは市に 130 か所程度存在している。（野村 59、明浜 8、宇和 38、城川 11、三瓶 13）支援しすぎも良くない為、自助的に関わり方を工夫して支援している。

- ・地域の宝を探す取組をしている。サロン以外の集まりを把握し関われないか考えている。
- ・今年度、市が地域福祉計画、社協が地域福祉活動計画を両輪として策定するにあたって、K J法を用いて地域の特性や宝物を探している段階。
- ・社協の目標としては、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域づくりを進めていきたいと思っている。
(清家委員)
- ・事業者としては公助として取り組むこととなる。現在の介護保険制度の中では、介護度の軽い人の受け皿が不足していると感じているため、なるべく早く体制を構築していただきたい。

- ・(3) (4) について、出席委員全員の了承により、センターが適切に運営されていると評価し受理。

(5) 平成31年度(令和元年度)活動計画について

【資料7】平成31年度(令和元年度)西予市地域包括支援センター事業計画

【資料8】平成31年度(令和元年度)西予市地域包括支援センター収支予算書

- ・資料7.8を使用し、稲垣センター長より説明あり。

- ・(5) 質疑応答なし
- ・出席委員全員の了承により受理。

(6) 予防給付に係るマネジメント業務を委託する居宅介護支援事業所について

【資料9】未承認介護予防支援の委託先居宅介護支援事業所一覧

- ・資料9を使用し、三瀬師長より説明あり。

《承認事項》

- ・未承認1事業所について、出席委員全員一致で承認。

(7) その他

《質疑応答・意見交換》

(和家委員)

- ・地域包括支援センターの業務は多く、高齢化も進んでいる中で困難事例も多数あり大変だと思うが、引き続き職員にがんばっていただきたい。

(浜木委員)

- ・明浜渡江地区では、民生委員さん主催でサロンが開催されている。参加者は人と触れ合うことを楽しみにしており、今後も継続してほしいと思っている。今後、自分もボランティアで支援していきたいと考えている。
- ・先日、介護相談員として施設訪問した際に、利用者から自宅で住みたいと言われた。自分自身も元気でいたいので、介護予防、自立の事業などあれば参加したいと思う。

(三瀬師長)

- ・7期計画としても、重度化防止・自立支援事業については力を入れており、健康づくり推進課と協同して実施している。ぜひ参加していただきたい。

(河野秀委員)

- ・人生100年と言われるが、事業がたくさんありどう選択したらよいか悩むところもあり、民協としても勉強しないといけないと感じている。
- ・包括も事業が多岐にわたっているが、住民にもっと包括や事業のPRが必要ではないか。また、絵に描いた餅にならないように活動を推進していただきたい。私たちも協力していきたい。

(片山委員)

- ・高齢者サービスガイドブックの歯科のページは情報が古いのではないか。八幡浜保健所に新しい情報が毎年更新されているので、参考にしていきたい。

(稲垣センター長)

- ・昨年度のインターネットの情報からとっている。今後、新しい情報を確認する。

(井関委員)

- ・高齢者が住み慣れた地域で継続してその人らしい生活を送れるよう支援するとなると、行政が中心とはなるが、各種団体、市民の協力が必要で、どう盛り上げていくかを当協議会で考えていかないといけないと思う。一番は市民の意識改革とも思うので、これからどうしていくか考えていければ良いのではないか。

